

観光・地域創造専攻の教育目的、教育目標、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー

教育目的

博士前期課程

博士前期課程観光・地域創造専攻では、ツーリズムに関連する経済科学、および人文社会諸科学について教育研究し、豊かな学術的識見、高い倫理観と柔軟な実践的応用力・構想力・問題解決能力を兼ね備える地域文化プロデューサー、地域経済の再生、開拓発展に取り組む地域牽引型イノベーター等の高度な人材を養成する。

教育目標

博士前期課程

1. 論理的思考能力・分析能力

観光・地域創造に関する先端研究に必要な基礎理論を理解し、同時に研究・調査フィールドでの課題発見に必要な方法論や論理的思考能力とともに、研究者として持つべき高い倫理観を養う。

2. 先端知識の応用力・構想力

観光・地域創造に関する最先端の研究についての知識を深めるとともに、独創的な分析枠組みを構築し、実践の現場で課題を解決できる能力を養う。

3. 高度なコミュニケーション能力

発表・ディスカッションにより豊かな表現能力を備えたリーディングスキルを養うと共に、異なる文化に対する理解と洗練されたコミュニケーション能力の向上を図り、国際的に活躍できる能力を養う。

ディプロマ・ポリシー（学修評価・学位の授与方針）

博士前期課程

博士前期課程観光・地域創造専攻では、所定の期間在学して本専攻が定める単位を取得し、次の能力を身に付け、修士論文発表会で報告し、修士論文審査ならびに博士前期課程最終試験に合格した学生に学位を授与する。

1. 論理的思考能力・分析能力

観光・地域創造に関する先端研究に不可欠な基礎理論を理解する論理的思考能力。研究・調査フィールドでの課題発見に必要な方法論を習得し、自らの課題を分析する能力。そのために必要な高い倫理観を養うための能力。

2. 先端知識の応用力・構想力

観光・地域創造に関する先端研究についての知識を理解する能力。先端研究を踏まえて、独創的な分析枠組みを構築し、実践の現場で課題を解決できる能力。

3. 高度なコミュニケーション能力

観光・地域創造に関する自分の研究課題に取り組み、異なる文化を理解し、国際的に活躍する上で必要な発表・討論における論理的な思考能力、豊かな表現能力および高度なコミュニケーション能力。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

博士前期課程

博士前期課程観光・地域創造専攻では、観光と地域創造の担い手として、経済学・経営学を中心に、関連する人文社会諸科学を研究する。そして、豊かな学術的識見と柔軟な実践的応用力・構想力・問題解決能力を兼ね備え、観光と地域創造の各現場の特性を的確に把握し、その魅力とオリジナリティを活かした価値創造に結びつける地域文化プロデューサー、あるいは観光を基軸とする地域経済の開拓発展に取り組む地域牽引型イノベーター等の高度人材を養成する。その過程でDPにおいて定めた能力を養うために、以下のようなカリキュラムを提供する。定めた能力を身につけ、修士論文発表会で報告し、修士論文の審査ならびに博士前期課程最終試験に合格することが修了要件である。

1. 論理的思考能力・分析能力

観光・地域創造に関する先端研究に不可欠な基礎理論を理解する論理的思考能力を身につけさせるために、1年次に演習IAや地域文化プロデュース概論などの必修科目を配置する。研究・調査フィールドでの課題発見に必要な方法論を習得し、自らの課題を分析する能力を身につけさせるために、2年次に観光マネジメント論などの必修科目を配置する。また、そのために必要な高い倫理観を養うための能力を身につけさせるため1年次に必修科目の研究公正Aを配置する。

2. 先端知識の応用力・構想力

観光・地域創造に関する先端研究についての知識を理解する能力を身につけさせるために、国際観光事業特論、ホスピタリティ・マネジメント特論などの1年次に選択科目における特論科目を配置する。先端研究を踏まえて、独創的な分析枠組みを構築し、実践の現場で課題を解決できる能力を身につけさせるために、2年次に選択科目における演習科目の集客交流まちづくり演習、観光文化論演習を配置する。

3. 高度なコミュニケーション能力

観光・地域創造に関する自分の研究課題に取り組み、異なる文化を理解し、国際的に活躍する上で必要な発表・討論における論理的な思考能力、豊かな表現能力および高度なコミュニケーション能力を身につけさせるために、1年次に選択科目の演習科目における地域価値創造演習や2年次に必修科目の演習IIA、演習IIBなどを配置する。